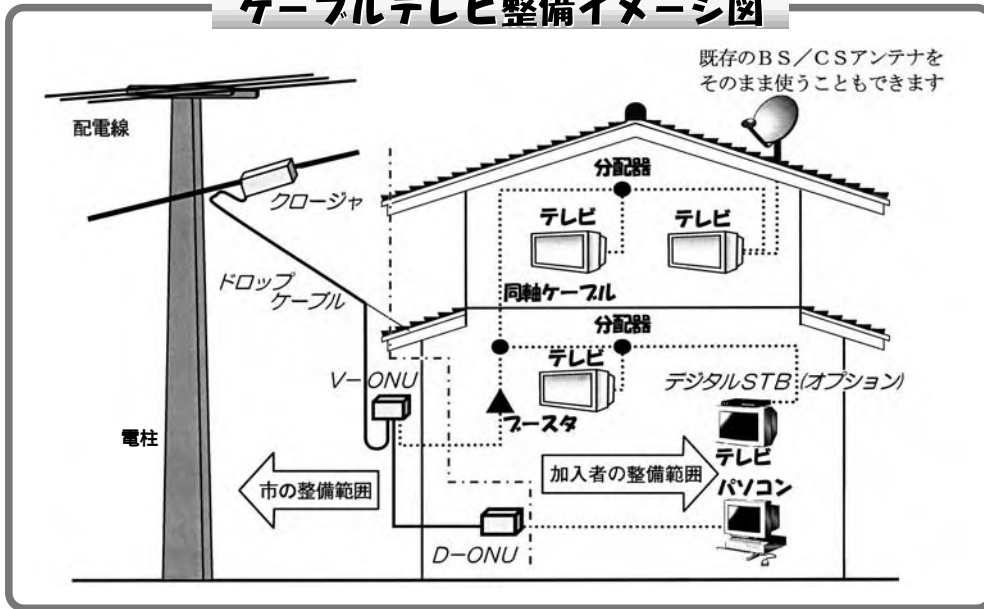


ケーブルテレビ整備イメージ図



- V-ONU.....伝送路と家庭の接続点に設置。送られてきたテレビ用光信号を家庭用信号に変換。
- D-ONU.....宅内に設置。送られてきたインターネット(データ)用光信号を電気信号に変換。
- デジタルSTB.....多チャンネルテレビ放送を見る場合に必要の機器。基本サービスには含まれない。
- 分配器.....宅内の各部屋に信号を分配。必要に応じて設置。
- フースタ.....送られてきた信号を宅内各機器に必要な強さにする。必要に応じて設置。

の他にBS、CS放送などの多チャンネル放送を視聴できるプランがあるほか、高速で常時接続のインターネットが利用できます。ただし、NHK受信料については、直接NHKにお支払いください。

また、伝送路は各家庭や、事業所まで光ファイバーを引き込むFTTH方式で整備します。

なお、従来の同軸ケーブルを引き込むHFC方式では、FTTH方式と比べて安価で

すが、情報通信網の基盤をしっかりと築くためFTTH方式を採用しました。

宅内工事について

図のV-ONUからブースタや分配器、D-ONUを介してテレビやインターネットへの接続および機器設定が必要になり、これらの費用は加入者負担となります。

既存配線が使える場合もあり、テレビやパソコンの設置場所や台数によって金額は異なります。宅内工事については最寄りの電気工事店にお問い合わせください。

引き込み工事について

引き込み工事とは、クロージャから住宅へ光ファイバーを引き込む工事です。光ファイバーを、宅外のV-ONUもしくは宅内のD-ONUまで引き込みます。加入促進期間中の申し込みについてはこれらの費用を市が負担しますが、加入促進期間以降の申し込みの場合は加入者の負担となります。

ケーブルテレビ Q&A

Q 加入促進期間中は、なぜ加入金が半額となるのですか？

A 南丹市のケーブルテレビは全戸加入を目指していますが、加入を強制するものではありません。しかし一定の期間を加入促進期間と定め、できるだけ多くの方に加入いただき、補助事業を活用し、各家庭までの引き込み工事を一度に行うことで、国庫補助金や有利な起債により、市の財政負担が軽減されますので、加入金の半減と引き込み工事費の免除が行えるのです。

Q 宅内の配線工事は大体いくらかかるのですか？

A テレビ用配線が同軸ケーブルであれば、ほとんどの場合現在の配線が使えます。ただし、地上デジタル放送に対応させるには、ケーブルや分配器、ブースタが古い場合は交換が必要になる場合があります。ケーブルが使えてもV-ONUに接続する工事が必要ですが、

テレビの台数・位置や宅内配線の状況により、費用は変わってきます。新規配線であればテレビ一台あたり三万円程度かかりますが、既存住宅の多くについては、それほどかからないと想定しています。

Q 家には何台かテレビがありますが、利用料はどうなりますか？

A 既存の分配器が利用できない場合は新たに分配器を設置すれば複数台で視聴できます。また、複数台で視聴されても、同一加入であれば基本利用料は変わりません。

Q ケーブルテレビの減免について教えてください。

A 減免措置は生活保護世帯のみを対象としています。ただし、生活保護世帯に相当するような特別な場合で、市長が特に必要と認めれば、減免できる場合があります。

ケーブルテレビに関する

詳しいお問い合わせ先

市役所企画情報課

(077)68 0003